

中1 夏期講習

▼中1夏期講習

講習日 — 7/22、26、29、8/2、5、9、16、19、23 ★午後1:20～午後2:45
※7/22 → 午後5:00～午後6:25

受講料 — 18000円(税込)

講習内容 — 入試5科目の学習指導

※上記の日程等は新型コロナ、その他の諸事情により変更になることがあります。

数学

【数学】絶対につまづけない、1学期の数学！

まず、数学のスタート地点である『正負の数の計算』を100%理解しなければなりません。この理解が欠けていると、この先、陽の目をみることはありません。

次に「文字式」そして「方程式」の処理も絶対的です。

上記の項目が理解が不足している場合、この夏に徹底して克服しておくべきです。理解が足りている人は、他の科目の時間が長くなります。

英語

【英語】英語は得意科目に！

2021年度、英語の教科書の改定がありました。『大幅増』です。それは過去に例がないほどの学習内容の増加です。

英語の学習料が増え、難しくなり、「英語嫌い」が増加し、できる子とできない子の差が、大きくなると思われます。

しかし、将来的に得意科目にしたい科目。

内容的にはまだ難しくありません。地道な努力(単語の書き取り・基礎構文の繰り返し等)が、「できる子」と「できない子」の境界になるでしょう。

他の科目

【5科目講習】

1日の講習で、5科目全てをやるのではなく、数学・英語を中心に学習します。「英語・数学・理科」の講習日もあれば「数学・英語・社会」の講習日があると思われると思います。

しかし、上記の記載のように、この時期の「数学・英語」は絶対的です。数学と英語に理解が足りない人は、他の科目の時間は少なく、理解がある人は社会や理科が多くなると思ってください。

※数学・英語・理科・社会の理解がある人等は国語の時間をあてることがあります。

当塾は宿題を出すことはありません。

※その分、学校からの宿題をキチンと仕上げたり、時間を有効に使って下さい。

超重要な内申点のはなし

高校入試において”超”重要な話です。是非一読して下さい。

内申点は評定、または評定点とも言われます。その内申点について、なるべく簡潔にお話いたします。

まず、全ての高校入試の合否判定において、高校側は入試当日までに内申点(評定)により、受験者に順位をつけ、およその合格者を決定してしまうということです。※(「3月〇〇日・よし、今日は入試日だ。頑張ろう。→しかし、すでに合格候補者は決まっている!？」)

例えば、昨年度の公立後期入試です。

2月24日に県内の各中学校から受験高校(志望校)に調査書(内申点記載)が送られます。後期入試日は3月9・10日です。それまでの約2週間、高校側は、県内外からの受験者に、内申点による順位をつけます。入試当日には、受験者は順位が決められているのです。

熊本県の後期入試は内申点及び学力点の両方を満たしている者を合格者とします。例えば、定員40名の学科ならば、内申点と学力点の両方で順位40位以内の者が合格者です。出願者が100名いて、最初の内申点の段階で、41位以下に順位付けられると厳しくなります。

このように、受験当日までに、およその合格者が決まっています!

熊本県では内申点は中1から中3の12月までが公立入試の査定範囲です。中1から入試は始まっています!※内申点の重さやバランスは自治体によってことなります。

次に、内申点は全ての高校入試の選考材料になるということです。※科目筆記試験はないことがあります。

前期入試は学力試験がない高校もよくあります。例えば、熊商や翔陽。

※例えば、面接+調査書、面接+実技+調査書、面接+作文+調査書等。

こちら入試当日(2月1日)までに高校側に調査書(内申点)が送られています。つまり、熊商や翔陽への前期合格は内申点で決まるとも言えます。

私立高校に至っては、3科目受験校、5科目受験校などあり、公立入試同様、試験当日までに受験校に送られる調査書(内申点)は、必ず選考材料になります。また、「中3の内申点のみ合否査定」や「内申点〇〇点以上で95%の合格」など、内申点による独特な選考もあります。

上記のように内申点は、高校合格へ「とてつもなく重要な要素」なのです。

そして、その内申点を決定する最も重要な要素は「定期テストの結果」です。「定期テスト」(中間、期末テスト)は内申点を決めるためのテストと言っても過言ではありません。

実は、中3で開催される「共通テスト」や「ゆうチャレンジ」といった実力テストは、内申点にはほとんど関係がありません。

※大きな声で言うてはいけないかもしれませんが、今はネットで調べられる時代。ググれば直ぐに分かります。また機会があればご案内します。

のぞみスクールは、従来より内申点を重く考えています。所属中学校の進捗を考慮して、基礎学力の定着と定期テスト対策をコツコツコツコツやっています。そしてその積み重ねが内申点のみならず、いつのまにか「地力」となり、入試当日の筆記試験でも、大いに活躍してくれるはずです。

やはり中1、中2からの地道な努力に勝るものはありませんね。

入試は内申点で決めろ!